

2023－24年度 国際ロータリー会長 コードンR・マッキナリー

スローガン「世界に希望を生み出そう」

クラブ奉仕

ロータリーの私たちのビジョンが、奉仕を受ける人たちからありがたがられているように。

職業奉仕

私たちの最も優れた仕事のいくつは、ほかの人たちの継続的な取り組みをサポートすることであるかもしれません。

これからの私の仕事、そしてすべてのロータリーリーダーの仕事の多くにおいては、継続が重要となります。

社会奉仕

行動計画を受け入れ、実行するための現実的な方法をクラブに提供することこそが、地域社会で持続可能な変化を生む最善の方法です。

ビジョン声明

① 平和

平和とは希望が根づくための土壌

人びとの間に新しいつながりを築き、共通点を求めて新しい機会を見つけるたびに、この土壌が耕されます。

平和は受動的な夢ではなく、懸命な活動、築かれた信頼、そしてしばしば難しい対話の結果として生まれるものです。平和は粘り強く、勇敢に実践しなければなりません。人類が立てることのできる最も勇敢な目標は、平和の追求です。ロータリーでは、すべての重点分野にわたる全活動が、希望を築く一助となり、それによって平和と償いが可能となります。

② メンタルヘルス

ロータリーが会員と奉仕を受ける人の両方を支える組織として知られるようになってほしいと思います。

ほかの人を助けることで、本質的に自分自身が助けられるのだ、と。

国際奉仕

ロータリー財団は、「ロータリーの奉仕を動かす燃料」

青少年奉仕

ローターアクト

ロータリー財団

財団寄付

インスピレーションを得るためには

「続けましょう／自分らしくあるために／思いやりある行いで／不親切な世界をあつと言わせるために」

すべての行い

私はすべての行いにおいて多様性、公平さ、インクルージョン（成功活用）を推進するためにロータリーが遂げてきたすべての進歩を全面的にサポートしたいと考えています。

DEI

最も重要な側面は、ロータリーを、どこからであれ最高の人材、最高のアイデア、最高のパートナーシップを受け入れるオープンで、インクルーシブ（包括的）な組織にすることです。

ロータリーDEI（多様性・公平さ・インクルージョン）タスクフォース

多様性はロータリーの中核的価値観の一つであり、私たちは、それを大きな強みとして生かしていく必要があります。ロータリーは多くの文化、世代、人びとの経験を反映した団体であり、自分の経験を生かして変化をもたらすチャンスと、多くのリーダーに提供できることを誇りとしています。国際ロータリー理事会は2019年1月の理事会において、ロータリーの「多様性・公平さ・インクルージョン」（DEI）の声明を採択しました。これは、DEIの原則を尊重して実践するために、基準を定める組織を創設するという取り組みの表れです。

DEIを組織の隅々に根付かせ、ロータリーが地域社会とかかわる際にこれを反映させるための具体的な計画が必要とされています。2020年9月に、ロータリーはDEIタスクフォースを設置しました。タスクフォースは、ロータリーにとって有意義で、達成可能かつ測定可能な成果が期待できる、包括的な行動計画の形成を担っています。

このタスクフォースには、世界中のロータリー参加者の専門知識が反映されています。タスクフォースは、ロータリーにおけるDEIの現状を評価し、地域的な違い、ニーズ、優先事項を含むビジョンを盛り込んだ計画を策定することとなります。重要な決定が行われ、計画が進むと共に、皆さまに引き続き詳細をご案内いたします。

継続

① ポリオ根絶

「希望は、夢を現実にしたいと強く願う人たちの夢、創造力、そして勇気の中に

あります」

- ・既知の成果と実証された証拠に基づいて奉仕プロジェクトを立案する方法について全員に話す必要があります。
- ・互いに、そして私たちが奉仕するすべての人とオープンで、インクルーシブで、思いやりのある心をもって接しましょう。
- ・世代や国境を越えて活動し、関係を築くためのあらゆる機会を探し求めてください。
- ・世界に持続可能な変化を生む新しいアイデアや視点を、進んで受け入れてください。

② 女児のエンパワメント ()

世界中の少女が強く、十分な能力を身につけた女性へと成長できるよう支援するために、私はこれからの会長の仕事を引き継いでいくことを明確にしました。

第2690地区ガバナー 石倉貞昭

スローガン「希望の種を播きましょう。育てましょう」

クラブ運営

「クラブ例会の再認識」

「公共イメージの向上」

「新会員の研修」

最重点目標

1. 会員増強

- ・各クラブ純増最低1名 地区会員数3000人に回復

重点目標

2. 地域ニーズに合致した奉仕活動の実施

- ・地区補助金、グローバル補助金の活用

3. ロータリー賞の取得を目指す

4. ポリオ根絶への協力

- ・ポリオ根絶への協力
- ・世界ポリオデー（10月24日）にあわせてのイベント開催
- ・ポリオプラスへの寄付30米ドル／人
- ・ポリオプラスへの寄付ゼロクラブ ゼロクラブを目指す

5. ロータリー財団への支援

- ・年次基金への寄付 150米ドル／人
- ・年次基金への寄付クラブゼロクラブ ゼロを目指す

6. ロータリーカード取得・利用の協力

7. 米山奨学会への支援

- ・普通寄付5000円／人 特別寄付10000円／人

8. メンタルヘルスへの対応

- ・IMのテーマとして検討

9. 2024年国際大会への参加

- ・シンガポール（2024年5月25～29日）各グループ10名以上

益田ロータリークラブ 2023－24年度会長 田原裕司

スローガン「希望は心の太陽である」

クラブ運営

最重点目標

会員増強純増1名

クラブ奉仕

会員増強（森本恭史） 会員増強純増1名以上

公共イメージ（田上尚志）

- ・ポリオ根絶推進活動（10月24日火曜日・益田図書館）
- ・萩・石見空港マラソン16th（10月15日日曜日）

クラブ管理運営（安野光雄）

- ・クラブ例会の再確認
- ・クラブ例会・第1金曜日（誕生日・結婚記念日・ロータリー勉強タイム）
第3金曜日（ゲストスピーチ・無料講師・月間）
- ・弁当・きりた弁当480円（ポリ撲滅）・お茶等は事務局用意する。
- ・益田商工会議所の事務所内資料や備品等の移動
- ・益田商工会議所の例会場の移動について
- ・週報の管理
- ・財務管理

ロータリー財団

年次寄付

ロータリークラブは、世界中の地域社会で、平和の推進、水と衛生の改善、教育の支援、地元経済の促進、母子の健康改善、疾病の治療・予防といった活動にあたっています。このようなクラブの取り組みを支えているのが、年次基金へのご寄付です。

ポリオプラス基金

ポリオ（脊髄性小児麻痺）は、身体麻痺の後遺症をもたらす、時として命さえも奪う伝染病です。この基金は、ポリオを世界から根絶するという目標を達成するために利用されます。治療法のないポリオに対する最善の対策は予防です。わずか米貨 60 セントのワクチンで、一人の子供を、生涯身体的自由を奪うこの疾病から守ることができるのです。

恒久基金

年次基金が今日の財団プログラムを支える一方、恒久基金は明日の財団プログラムを確かなものとするために、元金には手をつけず投資収益のみを使います。これにより、世代を超えて大勢の人々を支援し、希望を分かち合うことができるのです。寄付額に応じて、寄付者の名前をつけた冠名基金も設立できます。

- ・年次基金への寄付 150 米ドル／人
- ・ポリオプラスへの寄付 30 米ドル／人